

2007年3月期 決算説明会

2007年5月9日
日本郵船(株)



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

目次

- 1) 07 / 3期 決算 (P.2 – P.5)
- 2) 08 / 3期 業績予想 (P.6 – P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 – P.12)
 航空運送事業 (P.13 – P.17)
- 4) 補足(運航船隊規模) (P.18)

07 / 3期 決算サマリー

1) 売上高は初の2兆円越え、全体では増収減益

(億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
06/3期		19,293		1,405		1,405		921	
07/3期		21,643		1,049		1,075		650	
増減	%	2,350	12%	-355	-25%	-329	-23%	-270	-29%

2) 海運部門 : 海運業合計で 311億円の減益

3) 非海運部門 : 主要3部門合計で 122億円の増益

非海運5部門合計では 18億円の減益

4) 為替・燃料油 : (06/3期 vs 07/3期・通期平均比較)

為替レート 3.82円の円安 (113.09円 116.91円)

燃料油価格 \$35.69/MT高 (\$283.08/MT \$318.77/MT)

前年比増減分析

(億円)

円安	53	今期 116.91円 / 3.82円の円安
燃料油高	107	今期 \$318.77 / \$35.69の燃料油高
海運市況変動など	402	
非海運部門	68	NCA を含まず
コスト削減	125	海運 100億円、非海運 25億円
新規連結	66	NCA 110億円
合計	329	

経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約 14 億円の増益

燃料油 \$ 1/MTの燃料油価格上昇で約 3 億円の減益

07 / 3 期・前年比較 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
06/3月期	5,392	6,777	4,264	1,115	408	125	2,343	1,131	19,293
07/3月期	5,740	7,833	4,827	1,269	441	116	2,752	1,335	21,643
増減	348	1,056	563	154	34	9	409	205	2,350

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
06/3月期	175	1,082	130	22	2	34	37	0	1,405
07/3月期	97	1,043	170	56	46	36	179	0	1,075
増減	272	39	40	34	48	2	142	0	329

(売上高)	07/3	06/3	増減	増減率
不定期船	6,644	5,641	1,002	18%
タンカー	1,189	1,136	53	5%
計	7,833	6,777	1,056	16%



07 / 3期・修正(2月9日発表) 予想比較(セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	5,570	7,650	4,770	1,240	454	115	2,766	1,345	21,220
07/3期実績	5,740	7,833	4,827	1,269	441	116	2,752	1,335	21,643
達成度	103%	102%	101%	102%	97%	101%	99%	-	102%
差	170	183	57	29	13	1	14	-	423

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	105	1,080	176	53	40	35	180	0	1,100
07/3期実績	97	1,043	170	56	46	36	179	0	1,075
達成度	-	97%	96%	106%	115%	103%	-	-	98%
差	8	37	6	3	6	1	1	-	25

(売上高)	07/3期 実績	07/3期 2/9予想	Balance	達成度
不定期船	6,644	6,515	129	102%
タンカー	1,189	1,135	54	105%
計	7,833	7,650	183	102%

08 / 3期通期業績予想

(億円)

	07 / 3期 (実績)			08 / 3期 (予想)			増減 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	10,536	11,106	21,643	11,100	11,300	22,400	757 3%
営業利益	471	578	1,049	660	710	1,370	321 31%
経常利益	489	586	1,075	625	675	1,300	225 21%
純利益	296	355	650	400	420	820	170 26%

為替
燃料油

¥115.26	¥118.56	¥116.91	¥115.00	¥115.00	¥115.00	¥-1.91
\$336.04	\$301.50	\$318.77	\$330.00	\$330.00	\$330.00	\$11.23

08 / 3期 為替 前提 : 115円/\$
08 / 3期 燃料油価格 前提 : \$330/MT



08 / 3期・通期業績予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3期(実)	5,740	7,833	4,827	1,269	441	-	116	2,752	1,335	21,643
08/3期(予)	5,920	7,730	5,530	1,330	470	1,040	110	1,810	1,540	22,400
上期予想	2,950	3,820	2,690	680	260	500	55	900	755	11,100
下期予想	2,970	3,910	2,840	650	210	540	55	910	785	11,300
増減	180	103	703	61	29	1,040	6	942	205	757

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3期(実)	97	1,043	170	56	46	-	36	179	0	1,075
08/3期(予)	20	1,090	210	65	50	155	30	10	0	1,300
上期予想	5	530	85	32	49	90	17	2	0	625
下期予想	15	560	125	33	1	65	14	8	0	675
増減	117	47	40	9	4	155	6	170	0	225

(売上高)	08/3(予)	07/3(実)	増減	増減率
不定期船	6,580	6,644	64	-1%
タンカー	1,150	1,189	39	-3%
	7,730	7,833	103	-1%

セグメント別状況

1. 海運業 - 1)

コンテナ船：欧州航路中心に運賃修復進む

輸送量実績(千TEU)

	06/3期 (実)	07/3期 (実)	増減	(%)	08/3期 (予)	増減	(%)
アジア 北米	702	704	2	0.3%	827	123	17.4%
(消席率)	86%	85%			87%		
アジア 欧州	403	466	63	15.6%	524	58	12.4%
(消席率)	90%	93%			93%		

* 欧州航路は06年度実績数値より域内航路を除外した為、一部Restateしております。

自動車船：荷動きの伸びに一服感

輸送台数実績(万台)

	06/3期 (実)	07/3期 (実)	増減	(%)	08/3期 (予)	増減	(%)
全航路	286	324	38	13.3%	333	9	2.8%

セグメント別状況

1. 海運業 - 2)

バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	06 / 3期 (実績)	07 / 3期(実績)			08 / 3期(予想)		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
ばら積船(ケープサイズ)	63	63	105	84	78	63	71
ばら積船(ハンディサイズ)	68	81	104	92	86	77	82
VLCC	71	67	47	57	47	60	54

05 / 3期実績を 100 とした指数表示

撒積船 : 07年度のドライ・マーケットは、高水準ながらも下期にかけて下落する前提。滞船の影響続く。

タンカー : タンカー・マーケットは昨年並みを想定。



セグメント別状況

2. 物流事業

1) NYK LOGISTICS (陸上物流部門):

	07 / 3期 (実績)			08 / 3期 (予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	21 億円	44 億円	65 億円	35 億円	60 億円	95 億円
前年同期比	5 億円	24 億円	30 億円	14 億円	16 億円	30 億円

2) YAS (航空フォワーダー部門):

	07 / 3期 (実績)			08 / 3期 (予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	51 億円	53 億円	104 億円	53 億円	61 億円	114 億円
前年同期比	12 億円	2 億円	10 億円	2 億円	8 億円	10 億円

本表は、当社連結会計上の実績であり、YAS個別の実績とは異なります。

セグメント別状況

3. ターミナル関連事業

- 1) YTI (ロサンゼルス) / CTI (北米セレス):
取扱高は減少するも大幅に収支改善。
- 2) CTE (欧州セレス):
GA船の通期寄航により取扱高が増加。

4. 客船事業

- 1) 飛鳥 は、船型の大型化にも関わらず乗船率向上。
- 2) **クリスタル**は、2隻体制移行により、乗船率・運賃率ともに上昇し**増益を達成**。

航空運送事業 (NCA)

1) 07/3期業績予想の推移と実績

(億円)

	06/3期 実績	07/3期 期初予想	07/3期 中間期 予想	07/3期 通期実績		
				上期	下期	
売上高	1,036	1,100	1,026	480	490	970
経常損益	104	2	108	85	96	181
MOPS	\$72.34	\$74.00	\$86.34	\$85.68	\$75.01	\$80.35

- ・ ピークを欠いた荷動き、日中間航空貨物の需給悪化
- ・ 経年化機材の故障による稼働率低下や修繕費増加
- ・ 燃料費の高騰（\$1 / BBLにつき経常利益3億円 / 年増減）
- ・ 自立化加速により一時的に二重費用が発生



航空運送事業 (NCA)

2) 08/3期予想と Phoenix Project 2.0 (Phase-1) (億円)

	NCA Phoenix Project 2.0 (Phase-1)				(Phase-2)	
	07/3期 実績	08/3期 予想			09/3期 予想	10/3期 予想
		上期	下期			
売上高	970	500	540	1,040	1,127	1,300
経常利益	181	90	65	155	63	10
MOPS	\$80.35	\$75.00			\$75.00	

- ・ 自立(整備・運航・運送・IT)早期実現
- ・ 機材更新・拡充(B747-200FのB747-400F新替)
- ・ グローバル事業の基盤作り(ネットワーク強化/4極体制の確立)
- ・ 09/3下期に収支均衡化、10/3期に黒字化



航空運送事業 (NCA)

3) 航路別 L/F の推移

	Phoenix Project (Phase - 1)			(Phase - 2)
	07/3期 実績	08/3期 予想	09/3期 予想	
アジア 北米	97%	98%	97%	全航路 平均 79%
北米 アジア	74%	79%	78%	
アジア 欧州	99%	100%	100%	
欧州 アジア	90%	95%	93%	
日本 アジア アジア域内	59%	71%	63%	
アジア 日本	82%	79%	82%	
全航路平均	79%	83%	81%	

アジア/日本 北米の積高を合算した物量によるL/F

L/F = Gross Chargeable Weight / ACL (Available Cabin Load)

航空運送事業 (NCA)

4) Phoenix Project 2.0 の機材計画

(機数)	06/3期	Phase-1			Phase-2				Phase-3	
		07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期		16/3期
B747-200F	10	5	3							
B747-400F	2	4	6	10	10	10	10	10		10
B747-8F					2	5	8	11		14
他社スペース		2	2.5	3	3	3				
合計	12	11	12	13	15	18	18	21		24

(自社機材)

平均機齢(年度末)	16.1	11.4	7.8	1.9	2.4	2.8	3.3	3.7		6.2
平均稼働時間/日	12.2	11.1	11.4	12.6	12.0	12.8	13.2	13.2		13.2

(運航効率)

運航コスト/ATK	100	113	108	92	85	80	76	75		72
-----------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	--	----

航空運送事業 (NCA)

5) Phoenix Project 2.0 Phase-2/3の収支計画

(億円)

	Phase-2				Phase-3
	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	16/3期
売上高	1,300	1,650	2,000	2,350	3,000
経常利益	10	100	190	260	350

- Phase-2 (10 / 3期 ~ 13 / 3期) - 飛躍期
日本版航空ビッグバン(成田・羽田拡張)の機会をとらえ、
グローバルに事業を展開し累損を解消
- Phase-3 (14 / 3期 ~ 16 / 3期) - 成長期
8Fフリートを基礎に連携強化、ネットワークを拡充

運航船隊規模 実績と計画

	07 / 3期	08 / 3期		09 / 3期 - 11 / 3期	
	07 / 3期末 運航隻数		08 / 3期末 運航隻数		11 / 3期末 運航隻数
ドライバルカー・ タンカー・LNG船 等	447隻	(48隻)	485隻	(125隻)	600隻
(06/11発表値)			484隻	(127隻)	599隻
自動車船	115隻	(9隻)	118隻	(30隻)	140隻
(06/11発表値)			110隻	(28隻)	135隻
定期船 等	180隻	(22隻)	193隻	(37隻)	210隻
(06/11発表値)			193隻	(37隻)	198隻
合計	742隻	(79隻)	796隻	(192隻)	950隻
(06/11発表値)			787隻	(192隻)	932隻

(括弧内:期間内新規投入隻数。但し、5年未満の短期傭船は含まず。)